

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2018年 12月 14日

事業所名：ゆらんこ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	少しでもスペースを確保する為に、常設や常備されてある物品を最低限にしている。 また、活動中に使用しなくなった机やいすにを随時、片付けている。	はい26 どちら7 いいえ2 もう少し広い方が大きな活動や運動あそびの時など、いいかなと思います。 もう少し広い場所があればよいなと思います。 定員数いっぱいだと狭いと思う。 子どもの数と職員を合わせると、かなり狭いと思います。 狭いと感じる時もある。	スペースの確保だけでなく、環境自体(場所の変更も含め)を改善していけるのかも随時検討していく。
	2 職員の適切な配置	配置基準のみでなく、利用される児童に合わせて、職員を配置。	はい34 どちら1	現状の取り組みを継続する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設自体が借家ということもあり、バリアフリーという点で行き届いていない点もある。(修繕が不可の場合もあり)修繕や整備ができない場合は、それを補える物品などを用意したり、対人での支援で補っている。	はい20 どちら12 いいえ3 玄関先の階段のところに、手すりがあると見守りだけで上がれる人が増えると思います。 室内の階段が、少し急かなと思います。	現状の取り組みを継続する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	通所前、降所後の清掃の徹底。また、日々の打ち合わせや職員会議にて不備などがあった点について職員間で共有し、改善をしている。 季節感を取り入れた壁面、誕生日などの掲示などを職員が毎月制作し、掲示して児童を迎えている。	はい33 いいえ2 冬場は、少し寒い。	現状の取り組みを継続する
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員全体で共通のねらいを持ってはいるが、職員個々のというものには至っていない。	/	職員個々の目標設定などがもう少し充実できるように体制を整えていく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は受けていない。	/	県監査、研修などで指導してもらった内容を参考とし、積極的に業務を改善を行う
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部主催の研修会を調べ、職員に周知。施設長及び児童発達支援管理責任者より参加者を決定し、受講してもらうこともある 職員会議でのミニ研修を行っている。	/	職員の質の向上の為に、外部研修への参加の機会を増やせるような体制を整えていく。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	実態を把握する担当者会議を開き、アセスメントを行っていると共に、保護者からの要望の聞き取りをおこなっている	はい35	より保護者や本人の思いが気軽に話ができる機会も増やしていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用児に合わせた、活動内容(個別および集団)を組み合わせながら、計画を立てている。	はい35 いつも相談にのって頂きありがとうございます。	現状の取り組みを継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	項目および具体的な支援内容を記載して作成している。	はい35	現状の取り組みを継続する
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画に沿った適切な支援の実施	支援の目標を職員打ち合わせ時に確認し、支援にあたっている。	はい35	現状の取り組みを継続する
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	さまざまな職員が、活動プログラムの立案を担当し、企画→検討→試行→検討→実施のサイクルを職員全体で行い、プログラムを決定している。		現状の取り組みを継続する
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	1日の生活の活動量や各児童の目標にしていることに合わせてプログラムを立案するように努めている。		より利用児に合わせた活動が提供できるように検討していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事の取り入れだけでなく、家庭ではなかなか経験できないことなどを、週間ごとにメインの活動内容として企画し、行っている。	はい35 すぐ工夫されていて、すごいな~いつも感心しています。 食育が、もう少しあったら良いと思います。 子どもが楽しんで学べるようなことをしたい。 季節の行事の取り入れなど、家庭ではなかなかできないことをしてもらっているのがうれしいです。	社会参加活動(外出や公共交通機関)の機会を取り入れていきたい。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	受け入れ前に、必ず打ち合わせを実施。その際、利用児についての情報共有や前回利用時の様子を振り返り、当日の支援について出勤職員に伝達、確認を行っている。		現状の取り組みを継続する
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後の記録記載時に行ったり、次の日の打ち合わせ時に申し送りを行っている。		現状の取り組みを継続する
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別の記録に日々の様子を記載し、そこから検討していく課題を抽出している。		現状の取り組みを継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングを実施。保護者に対しても、モニタリングを书面し説明。見直しにつなげている。		現状の取り組みを継続する	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	基本的には、児童発達支援管理責任者が出席している。必要に応じて、担当職員も同席している。		現状の取り組みを継続する
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者や相談支援員に連絡調整や必要性を伝え、サービス担当者会議を開催。在園時の様子や入園、入学に向けての情報交換を行っている。		全ての利用児に関してできていないことではない。相談支援員を交えながら、連携していけるようにしていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、小学校6年生までの受け入れのみであり、障害福祉サービス事業所への移行がない。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修の情報がある際は、随時参加を検討している。		専門機関での研修を受ける機会を増やしていきたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域の子どもたちが集まるであろうという場所に出かけてということはあるが、交流を目的にということとは、現在実施できていない。	はい12 どちら16 いいえ7 私が知る限り、ないと思います。 よくわからない。	地域資源を見直しながら、取り入れていくことも検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域行事への参加はあるが、こちらが主催のものに招待ということは実施したことがない。	はい12 どちら16 いいえ8	民家の中に立地しているという施設の特色もあるが、なかなかそのような機会を作ることがなかった。知らせることまた理解につながるように行事などを企画することを努めていきたい。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時において説明を徹底。また説明の為の紙面を用意。	はい35	現状の取り組みを継続する
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	懇談の機会を取り、説明を行っている。	はい35	現状の取り組みを継続する
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		はい28 どちら5 家庭や学校のこともよく相談にのって頂いています。	より充実した保護者への支援ができるように研修の機会や職員とのやり取り、また情報提供を行っていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	児童発達支援では、保護者通所になっており、実際に共に時間を過ごしながら支援の方法や子育てについての助言や実際に伝えている。放課後等デイでは、連絡帳や電話相談及び面談の機会を取るなどして徹底や支援を行っている。	はい35 不安がある時は、すぐに対応して下さいますし、一緒に考えて下さるので、すぐに安心へとつながります。また、職員の方が統一した支援で(情報の共有)接して下さるので、できることが増えてきましたし、自己啓発にもつながっていると思います。 先生が色々変わったりするので、共通理解ができているかわからない部分もある	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		はい34 どちら1	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者参加行事を実施している。しかし、定期的な開催には至っていない。	はい27 どちら7 いいえ1 機会があっても中々参加ができていません。連携という雰囲気ではなかった。保護者間の交流の機会があればと思います。	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	保護者からの苦情等などがあつた場合は、施設全体で周知また対応を検討し、改善していつている。	はい34 どちら1 苦情がないがないのでわかりません。苦情を出したことがないからわからない。	現状の取り組みを継続する
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童発達支援では、保護者と通所の為、その時その場で口頭でやり取りを行っている。放課後等については、連絡帳や必要に応じて送迎時での情報伝達、電話連絡を行っている。	はい33 どちら2 連絡帳があるので伝えやすい。 時間が限られている中での送迎時での職員との対応なので、子どもの様子を見て楽しかったのかを判断しています。	現状の取り組みを継続する



区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月活動予定の発行、定期的な通信の発行を行っている。	はい34 どちら1 ノートの記載や送迎時に様子を聞かせて下さるので、ゆらんこでの様子がよくわかります。また、月間の行事予定表があるので助かります。	現状の取り組みを継続する
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員への個人情報保護についての認識を徹底。保護者に向けては、個人情報使用同意書及び写真掲載の同意書を取って取り扱いに注意している。	はい34 どちら1	現状の取り組みを継続する
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルはあるが、周知については(保護者への)できていないのが現状である。職員には、職員会議にて周知徹底している。	はい33 どちら2 マニュアルがあることを知らない。緊急時の避難場所がどこにあるか、保護者に伝え、確認してもらう方が良いと思う。土地勘がない人は、わかりにくいと思います。	保護者と共に防災について考えていく機会を取り入れ、周知すると共に家庭生活にも取り入れてもらえるような内容も取り入れていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施		はい34 どちら1 施設においてある防災袋の中身を教えてもらいたい。皆で防災について話し合う機会があればうれしい。	さまざまな場合を想定した訓練を計画、実施し続ける。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	日々の支援の中での振り返りを行うと共に、虐待研修がある際は、参加してもらうようにしている。		現時点では、定期的な外部研修がしっかりと確保されていない為、定期的な参加ができる外部研修を探すことも検討していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	法人で身体拘束禁止に関する施設内取り決め事項を決定。また、やむを得ない場合がある時は、保護者と懇談での了解を取り、支援計画に記載		身体拘束のやむを得ないことなのかを、日々職員で検討していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーの調査書を保護者に年度初めに記載してもらい、必要であれば診断書を添付してもらおう。また、保護者を通じて、医師に確認してもらおうことや施設での活動を事前に説明し、活動の許可を取っている		現状の取り組みを継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例集を作成。毎回の職員会議で、議題に必ずヒヤリハットを実施。全職員で検討し、改善を図っている。年度初めには、昨年度に出たヒヤリハットを全職員で確認している。		現状の取り組みを継続する
その他		<p>学校の短縮時間の時も、そのまま学校にお迎えに行ってもらえると助かります。  おやつが多いように思うことがあります(うちの子もだけかも)  いつもありがとうございます。毎回、ゆらんこに行くことを楽しみにしています。  とても満足しています。子どもも楽しみに通所しています。今後もよろしくお願いします。  通所している中で、一番きちんとしていて厳しいので、本人がどう思っているかはわかりませんが、保護者として満足しています。  いつも力になって頂いてありがとうございます。親子で楽しみに通わせてもらっています。これからもお願いします。  中学校、高校になっても通えるようになって欲しい。  いつも親子共々、寄り添って頂いています。ありがとうございます。  日中一時支援があると嬉しいです。</p>		